

関空水没の2018年 台風21号停電を経験

株式会社けやきサポート 様

大阪・堺市にある住宅型有料老人ホーム「けやきハウス」は、プライベートにも配慮した環境の中、介護・医療と連携、高齢者を支援するサービスを提供しています。



導入の目的

2018年9月4日、関西に上陸した台風21号は死者14人の人的被害をもたらただけでなく、暴風で流されたタンカーが関西国際空港の連絡橋に衝突し、人と物の流れがストップするなど、経済にも大きな爪痕を残しました。

最大瞬間風速は関空島で58.1メートル、大阪市中央区で47.4メートルを記録した4日夜、暴風で倒れる電柱も相次ぎ、各地で停電が起きました。

堺市の当施設周辺も1時間程度の停電が発生しましたが、たん吸引の利用者がいるので心配でした。

既存の2施設を含めて災害時でも止まらない電源を取り入れたいとの思いから急な停電にも対応でき、移動可能で大容量出力が可能なパーソナルエナジー・ポータブルの導入を決断いたしました。

課題の解決

この台風21号が教訓となったのは「備え」の大事さです。驚いたのは、停電が続いた地域では単一乾電池が品切れになっていたことでした。

単一は懐中電灯やラジオなどに多く使われていますが、単3や単4に比べて流通量が少ないため、店頭在庫もそんなに多くはないとのことでした。

台風は進路の予想により、事前にある程度の備えが出来ると考えていました。

しかしながら、停電対策として機器を導入しても管理をする者がおらず、急な停電時に電源を供給する対応が出来なかったり、エンジントラブルや点検などが必要な機器は、専門でない人員では対応が難しいと思います。

停電への備えは、すぐに、誰でもが簡単に、安全に使えるに尽きます。

パーソナルエナジーポータブル導入は当所には最適な答えでした。

導入後の効果

1. 非常時も通常時と同じに使える簡易性

施設は急な停電や災害にも、通常時と同じ電気が使えるようになりました。

2. 高い安全性

充電時に発火が相次ぐリチウムイオンバッテリーと異なり、陸海空で高い安全性能を認証されていることが安心です。



AT A GLANCE

構成機器

- Portable Power HPP-2000
- Battery Bank HBB1000

導入効果

- 施設間での移動が容易
- 停電時も通常時と同じ安心感
- 3セット導入による相乗効果



宮瀬 たまき 様

株式会社けやきサポート 代表取締役

住み慣れた地域でその人「入居者様」を支え、人生の最終段階（看取り）まで、その人の価値観や信念が尊重され、尊厳を持って、「その人らしく」過ごせるように寄り添い（介護）、看守り（看護）支援していくことが私たちの使命です。